

# 令和3年度 実践的放射線治療人材育成セミナー Python講習会・初級編 を開催しました！

令和3年10月16日(土)にZoomウェビナーにて、5回目となるPython (パイソン) 講習会を開催しました。プログラミング講習会を完全ウェブ実施するというアフターコロナの新標準を視野に入れた試みでしたが、全国から合計222名の方々にご参加いただきました。

まず、HIPRAC永田センター長の挨拶に始まり、小澤医学物理士長の「HIPRACの活動紹介」を行いました。その後、PyCon mini Hiroshima 2020の運営に携わられた西本 卓也先生より「Pythonが注目される理由と将来性」についての講演が行われました。1991年に誕生し、多くのユーザーに愛されるプログラミング言語へ進化したPythonの背景について、西本先生の開発経験を踏まえて解説していただき、非常に有意義な講演でした。

続いて、HIPRACのスタッフから、放射線治療計画データや画像データの解析ソフトウェアの作成方法を学ぶことができるよう、Googleが提供しているクラウド環境 (Google Colaboratory) をベースとし、「Pythonのコードの書き方 (変数型、四則演算)」、「リニアックログデータの可視化」、「DICOM RT Planの読み書き」、「Winston-Lutzテストの解析」の4つのテーマで実習を行いました。



『西本 卓也先生』

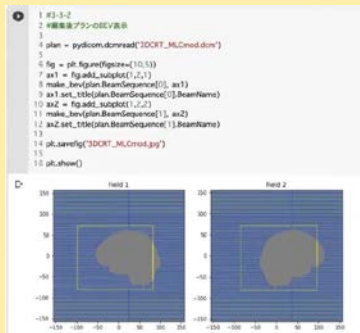
## NVDA (NonVisual Desktop Access)

- Windows用の画面読み上げソフト (スクリーンリーダー)
- オーストラリアの全盲技術者たちが2006年リリース
- 2010年「NVDA日本語化プロジェクト」
- 2012年「NVDA日本語チーム」
- NVDA日本語版
  - 日本語音声合成の組み込み
  - 日本語点訳エンジンの実装

『音声読み上げソフトの日本語対応』



『NVDA普及のための活動』



『DICOMの編集・保存も容易』



『ZOOM講習会の様子』

参加者の皆様からは、「臨床の現場で活かしたい」、「次年度以降も継続して開催してもらいたい」等、ご好評をいただきました。HIPRACでは、今後も皆様からいただいたご意見を参考にしながら、放射線治療に携わる医療人材の育成に努めて参ります。

引き続き、各種人材育成セミナーにぜひご参加下さい。



mail: [office@hiprac.jp](mailto:office@hiprac.jp)

HP : <http://www.hiprac.com/>

Tel : 082-263-1330 / Fax: 082-263-1331

©HIPRACに関する質問 (診療・受診方法など) は、こちらへお問い合わせください。